

令和5年度 大阪府立光陽支援学校 第2回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立光陽支援学校
校長名	天野 ちさと

開催日時	令和5年12月19日(火)
開催場所	本館1階 図書室
出席者(委員)	小田 浩伸(会長) 宮本 正路(委員) 鎌倉 義雄(委員) 北埜 恵一(委員) 藤川 実世(委員) リモート参加: 平賀 健太郎(副会長)
出席者(学校)	天野 ちさと(校長) 道前 光司(事務長) 中村 素子(教頭) 大石 恵理(教頭) 竹内 成江(首席) 赤星 哲也(首席) 藤原 克行(首席) 菊池 亮輔(首席) 佐藤 薫(指導教諭・病弱部主事) 澤 綾子(指導養護教諭) 網中 有里(指導栄養教諭) 辻 美穂(小学部主事) 佐々木 敦子(中学部主事) 田中 美津子(高等部主事)
傍聴者	小学部保護者1名
協議資料	下記議題関係資料
備考	

議題等(次第順)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 「学校経営計画」の進捗状況について</p> <p>(3) 「学校教育自己診断」について</p> <p>(4) 「授業アンケート」について</p> <p>(5) 教科用図書 選定報告</p> <p>(6) 意見交換</p> <p>(7) 教頭挨拶</p>
協議内容・承認事項等(校長より内容説明)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>・2学期は各学部とも修学旅行を無事に実施することができ、学校とは違う子供たちの様々な行動や表情を見ることができた。また学習発表会は、コロナ感染症が5類になり、数年ぶりに全校児童生徒が一堂に会して、演技演目を披露しあうことができた。先輩後輩が互いに声援を送りあい、刺激をうけあい、温かい雰囲気の中開催できた。校外活動などで地域の方々とはふれあう機会も多くあった。ボッチャ甲子園出場をはじめ、教育長賞受賞、鹿児島国体出場、漢字検定、プレゼンカップ近畿大会2位受賞など様々な場面で本校の生徒が活躍し、日々の学習での成果を発揮できている。本日は、様々な立場から、本校の教育活動をよりよくしていくために忌憚なきご意見をいただきたい。</p> <p>(2) 「学校経営計画」の進捗状況について</p> <p>どの項目についても概ね目標通りにすすんでいる。②-(3)については目標以上の達成状況で、ニューメディア「子ども笑顔プロジェクト」では様々な取り組みを発信している。③-(3)教員働き方改革推進の定時退勤の</p>

取り組みはだれもが意識して行動できている。リフトについては、全肢Pで藤川会長が発表を行い、反響も大きかった。以下それぞれの取り組みについて動画やPPにて報告。

○「光陽 GoGo フェスティバル」：動画

・今年度は、参加対象を広げて開催。昨年度 111 名を上回る 260 名の参加があった。事業所、地域の小中学校、就学前施設などからの参加が 4 割以上をしめ、本校の取り組みを体験していただき、センター的機能を果たすことができた。また本校教職員とも直接話ができてよかったなど好評をいただき、進路先決定にむけての一助にもなったのではないだろうか。

○「子ども笑顔プロジェクト」モデル校としてのとりくみ：PP

・入院中に temi を使用して学校探検を行った事例について、メタバース世代別交流会でアバターを通して全国の児童生徒先生との交流について、メタバース展示会についてなどの実践報告を行った。肢体不自由校交流会は6校が参加しており、現在メタバース上で教材の共有をできるかなどの検討を行っている。モデル校として『アバターで秋田竿燈まつりを楽しもう』『アバターでプール学習を楽しもう』の実践事例の報告も行った。

○リフトについて：PP&動画

・教員の腰痛予防という観点だけでなく、子供たちにとってより安心して安全な移乗ができるということの評価し活用をすすめている。移乗場面だけでなく、教育活動（自立活動や修学旅行事前学習）の中での取り組みについても紹介を行った。

○OSDGs プレーヤーとして、「届けよう服のカプロジェクト」3年目の取り組みについて：動画

・地域にも協力を依頼し、清水小からは100枚が届き、トータル過去最多となる1565枚の服を回収できた。授業活動の中で1年生から6年生が協力して、箱につめる発送作業の様子を動画で紹介。

○地域連携支援の実践報告『地域の学校園に通う肢体不自由の子供たち』（夏季公開講座）：PP

○「関西教育 ICT 展」での実践報告（病弱部）

○「ポッチャ甲子園」：動画

・全国大会の様子をまとめ、動画で紹介。大会後の対戦校との交流などについても報告。

○「未来を見通すコンテスト・プレゼンカップ」：発表動画

・大阪府で1位、近畿地区で2位を受賞した。生徒本人は次回に向けての意欲がさらに高まっている。

(3) 「学校教育自己診断」について

・今年度は Google フォームでのアンケート形式で実施した。保護者、児童生徒向けには紙媒体でも回答できるようにした。現在集計中、次回報告を行う。

(4) 「授業アンケート」について

・現在第2回アンケートを集計中。次回報告を行う。別紙資料ご確認ください。

(5) 教科用図書 選定報告

・別紙資料ご確認ください。

(6) 意見交換

・下欄に記載

(7) 教頭挨拶

委員からの意見の概要

- ・光陽 GoGo フェスティバルに参加させてもらったが、素晴らしい活動の数々に頭が下がります。この活動をもっと地域を巻き込んでやってもらえたら・・・発信してもらえたら、協力できるところは協力したい。
- ・子供たちの元気と生き生きとした表情に感動。コロナ渦で社会全体が停滞していた。今災害が起こったらどうなるのか予測ができない。防災についても危機感をもちながら取り組んでいただけたらと思う。
- ・動画や写真を見させていただき、笑顔、悔しさなど感情がたくさん表出されていることが素晴らしい。子供たちの生活の充実に向けて取り組んでおられる様子がよく分かった。本校でも参考にさせていただき、教員自らが考えてどう行動していくかを改革していきたい。
- ・光陽 GoGo フェスティバルに参加させてもらった。お世話になっている看護師さんと一緒に参加したが、生徒ももちろんだが先生たちの生き生きしている学校の雰囲気感動したとのこと。この支援学校の生き生きをたくさんの方々に発信していきたいと思う。リフトの導入についても全国で発信させてもらった。子どもの病院でもリフトが導入された。リハビリの場面でも活用されていて、少ない人手で、充実したリハビリがすすめられるとのこと。
- ・どういう活動をしたかだけでなく、子どもたちの感情がよく伝わってくる内容で、多くの人に見てもらいたいと思う。今日見せていただいたものは、誰でもみられるのか？
→残念ながら個人情報観点で誰でも見られるものではない。ブログなどには活動の様子は静止画(写真)を使用し随時発信している。
- ・病弱部の ICT についての取り組みはすすんでいると感じた。地域では機器や手技にまだ課題があるのかと思う。光陽さんの取り組みは全国の病弱部門の学校に影響がありそうだ。
- ・教育の大きな課題のひとつに教員不足がある。教員志望の学生が減って全国的な問題になっている。3回生での採用試験もはじまっている。ぜひ、小学生、中学生、高校生など今後の教員を担うであろう学生に光陽の取り組みを発信してほしいと願う。
- ・教員をめざす大学生にみてもらいたい。インクルーシブ教育が進められ、どこの学校でも様々な障がい種のお子さんと関わる機会が増えてきている。
- ・大学を選ぶ前の高校生に見てもらいたい。働き方改革が先行してしまっ、教員本来の、支援学校教員の魅力が失われていく恐れを感じている。やりがいや魅力の残る働き方改革にしてほしい。

次回の会議日程

日時	令和6年2月中旬頃予定
会場	大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室